

花と出合ってみませんか

生け花木曜クラブ

活動歴は11年、クラブ員は9名ですが、なごやかで明るい雰囲気を持ったクラブです。指導は、大木花酔先生（東町在住）。

活動中に伺ったところ、河骨という睡蓮の葉を小さくしたような形の葉をした花を生けているところで、見るからに涼しさを誘う夏の季節にあった花材でした。

公民館クラブ紹介 ⑬

「先生が季節を先どりした花材を選んでくれるので、その折々の花との出合いが楽しみです。同じ材料でも、仕上がった作品にはそれぞれ個性があります。お互いに批評しあって楽しんでいきます。」とクラブ員のみなさん。稽古の終わったあとは、お菓子を持ち寄ってのお茶の時間があったり、楽しみのひとときになっています。

秋の文化祭には、山歩きをして、りんどう・すすき・野菊といった山野草を花材にして出展しています。また、年



みんなふうにしたらどうかしら

1回は三越デパートで催される花展にも出かけ、ヒントを得ることもあるそうです。「今年は、初めて日帰りで、山梨へ桃の花を見に行ったことが楽しい思い出となっています。」と話してくれました。

2年前クラブ員となったメ

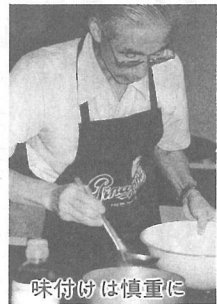
料理って おもしろいですよ

男の料理教室

ふだん台所に立つことの少ないお父さんに料理の基本と楽しさを知ってもらおうと、8月11日、町文化会館で「男の料理教室」が開かれました。この日の献立では「鳥肉とじゃがいもの照り煮」そして「みそ汁」です。包丁の使い方ひとつとっても「やわらかいものを切るときには包丁の先を、かたいものは元の方を使います。」と先生の説明のひとつひとつが新鮮な響きとなって耳に入っているようで、参加者は大きくうなずきながら、さっそくじゃがいもの皮むきや鳥肉の調理に挑戦。味付けでは、調味料の入れる順番を間違えないように気づか



参加したお父さんの目は輝いていました。



味付けは慎重に

いながら「ちょっと甘すぎかな?」と不安そうな一幕も。すかさず先生が、「煮詰まるとちよほどよくなりますから大丈夫。」のひと言で一件落着。調理室はおいしそうな香りいっぱいになりました。できあがったあとの試食会では、お父さんたちの満足そうな顔・顔・顔。「やってみると面白いね——自分で作ったからケチはつけられないし(笑い)、なかなかイケルよ。今度は何を作ろうか。」と次回の講習が待ち切れないようです。初対面の参加者もうちとけて、話しに花を咲かせていました。あなたもぜひ参加してみたいかですか。お問い合わせは文化会館(☎1351)へ。

ンバーもいて「初心者には基本から教えてくれるので心配はありません。」とのこと。生け花を習ってみたい人、入会してはいかがですか。
活動日 毎月第2第4木曜日
午後1時30分～3時
30分
会費 月額1500円
お問い合わせは、大場和可さん(☎1737)へ。